

一般社団法人日本解剖学会 2020（令和2）年度第3回常務理事会議事録

日時：令和2年9月12日（土）13:00～15:30

場所：一般財団法人口腔保健協会（3階302会議室）およびオンライン会議形式

出席者：八木沼 洋行（理事長）、渡辺 雅彦、西 真弓、野田 泰子、牛木 辰男（以上、常務理事）
松崎 利行、竹林 浩秀、阪上 洋行（以上、常任幹事）、宍戸 基行、中村 聡（以上、口腔保健協会）

I. 会議記録の確認

以下の会議記録について確認を行った。

- (1) 2020（令和2）年度第2回常務理事会（令和2年6月20日開催）議事録（案）
- (2) 2020（令和2）年度第5回理事会（令和2年7月21-30日開催）議事録（案）

II. 報告事項

1. 庶務報告

(1) 会員異動報告

資料に基づき、以下の内容が報告された。

令和2年6月分

入会者：正会員 2名、学生 1名

退会者：正会員 5名 名誉会員 2名、永年会員 1名

令和2年7月分

入会者：正会員 2名

退会者：学生 1名、名誉会員 1名

令和2年8月分

入会者：正会員 2名

退会者：正会員 1名、学生 2名、名誉会員 1名

逝去会員 5名

瀬口 春道 氏（高知大学・名誉教授/名誉会員）令和2年6月8日逝去（満80歳）

長島 聖司 氏（長崎大学・名誉教授/名誉会員）令和2年6月16日逝去（満79歳）

鈴木 孝司 氏（東京農工大学・名誉教授/名誉会員）令和2年6月25日逝去（満89歳）

佐藤 泰司 氏（杏林大学・名誉教授/名誉会員）令和2年8月12日逝去（満92歳）

新規就任教授

細矢 明宏 先生（北海道医療大・歯・組織学・教授）令和2年4月1日就任

藪村 貴弘 先生（朝日大・歯・解剖学・教授）令和2年5月1日就任

(2) 学会宛文書について

資料に基づき、以下の通り報告があった。

① 通知・依頼：ヘルシー・ソサエティ事務局より「第16回ヘルシー・ソサエティ賞授賞式延期のお知らせ」ほか 他49件

② 書籍・定期通信 他：横倉義武先生（日医会長）より「対談集 和のこころ」寄贈 他15件

(3) 男女共同参画学協会連絡会報告

資料に基づき、① 第18期第3回運営委員会（2020年8月29日開催）、② 第18回男女共同参画学協会連絡会シンポジウム「女性研究者・技術者の意志・能力・創造性を活かすために～女性リーダーが例外でない社会をめざして～」（2020年10月17日開催）、③ 日本解剖学会での男女共同参画の現状と取り組みに関する活動報告の内容が報告された。

(4) 令和2年度支部学術集会開催状況について

資料に基づき、本年度の支部学術集会開催状況について、新型コロナウイルス感染症の感染防止を目的として3支部会でオンライン開催、2支部会で誌面開催、1支部会で開催中止となったことが報告された。

(5) 令和2年度推薦による代議員申請状況について

資料に基づき、令和2年度推薦による代議員申請状況が説明され、理事会で審議することとした。

(6) 日本外科学会CST推進委員会報告

資料に基づき、『「臨床医学の教育及び研究における死体解剖のガイドライン」提言・リコメンデーション・Q&A』の内容に関する本学会からの意見・質問に対して、日本外科学会で協議された結果、本学会の意見に沿って内容が修正されたことが報告された。

(7) その他

特になし。

2. 編集報告

(1) 解剖学雑誌及びA S I 刊行報告及び刊行予定

資料に基づき、解剖学雑誌 95巻、ASI 95巻 (4)の掲載内容と発送予定(2020年9月30日)について報告された。

(2) ASIにおける2019年インパクトファクターについて

資料に基づき、ASIの2019年インパクトファクターが 1.512 (昨年度 1.566)であったことが報告された。

(3) その他

特になし。

3. 企画・渉外報告

(1) 2020(令和2)年度認定一級技術者資格試験について

資料に基づき、認定一級技術者資格試験(2020年9月12日)の実施状況(受験者2名)が報告された。可否の結果については次回の常務理事会と理事会で報告し、審議する予定である。

(2) 認定二級技術者資格試験について

資料に基づき、認定解剖組織技術者資格審査委員会の審査の結果、3名の受験者が合格と判定されたことが報告された。

(3) 2020(令和2)年度奨励賞・認定解剖組織技術者功労賞申請状況について

資料に基づき、2020(令和2)年度奨励賞・認定解剖組織技術者功労賞申請状況について、それぞれ9月30日、10月30日締め切りで申請を受付ることが報告された。

(4) 2021(令和3)年度第126回日本解剖学会総会・全国学術集会の準備状況について

資料に基づき、2021(令和3)年度第126回日本解剖学会総会・全国学術集会の準備状況について、①会期は2021年3月28日～30日。現時点では現地開催(名古屋国際会議場)とWeb開催の両面で検討中であるが、11月までには最終判断がされること、②演題募集は9月14日から開始予定で、参加登録については準備の都合上10月中旬ごろの開始を予定していることが報告された。

(5) 2023・2024(令和5・6)年度第126・127回総会・全国学術集会開催校について

資料に基づき、2023・2024(令和5・6)年度第126・127回総会・全国学術集会開催希望募集について、2023年度の開催希望校がありそうだが、2024年度は現時点では希望が出ていないことが報告された。

(6) 日本医学会報告・日本医学会連合報告

資料に基づき、①日本医学会連合2020年度定時社員総会(6月24日開催)での議事内容、②旧優生保護法の検証のための検討会報告書について、日本医学会連合から本学会への意見の依頼に対して、特に意見なしで回答したこと、③「未来への提言」についての日本医学会から意見の依頼に関する解剖学会の回答内容、④第31回日本医学会総会2023「学術プログラムに関するアンケート」について、解剖学会の回答内容、⑤日本医学会から、医道審議会死体解剖資格審査分科会臨時委員について河田光博先生(佛教大学)と野田泰子先生(自治医科大学)の就任継続の依頼があったことから、両先生に継続をお願いしたことが報告された。

(8) 生物科学学会連合報告

資料に基づき、生物科学学会連合から次期候補者の推薦依頼に対して、解剖学会からは特に推

薦はしないことが報告された。

(9) 日本脳科学関連学会連合報告

資料に基づき、日本脳科学関連学会連合代表に伊佐 正先生が7月1日に就任したこと、日本脳科学関連学会連合第16回評議員会が9月23日に開催予定であることが報告された。

(10) 若手研究者の会について

資料に基づき、来年3月に行われる第126回全国学術集会において若手研究者の会が企画する① 解剖・生理若手の会共同企画シンポジウム、② 若手育成委員会と若手の会との共催シンポジウム(「解剖学人材をいかに確保するか〜取り組みと提言〜」)、③ プレミアムランチョンセミナー(解剖学の魅力を語る with 若手研究者の会総会)、④ 若手研究者の会 春の学校についての内容が報告された。

(11) 国際渉外関係について(KAA、APICA、IFAA等)

資料に基づき、国際渉外関係について以下の報告が行われた。① KAA への2021年の派遣については、海外交流関係費として10万×4名で予算を計上すること。② APICA に関しては、第9回 APICA(中国開催)は中止となり、現在、第10回の開催国を決定する投票が行われていること、第10回の開催国としては日本の他ニュージーランド-オーストラリア連合(ANZACA)が立候補を表明していること、APICAの執行委員会に対して日本としては2022年3月末に大阪、もしくは京都での現地開催とオンライン開催のハイブリッド方式で準備をしていることを伝えたこと。③ IFAA に関しては、関係改善を求める IFAA の Kramer 理事長からの手紙に対して、日本解剖学会として、2024年に IFAA 総会を主催する韓国 KAA への協力の過程で IFAA との関係改善の道を探ることを Kramer 理事長に伝えたことが報告された。

(12) その他

特になし。

4. 会計報告

(1) 2020(令和2)年度中間報告について

資料に基づき、2020年8月31日での決算報告書の内容が説明され、例年通りの収支内容であるが、今後、新型コロナウイルス感染による収支への影響を慎重に見極める必要があることが報告された。

(2) 第125回総会・全国学術集会収支・開催報告

資料に基づき、第125回総会・全国学術集会の開催報告書の内容が説明された。収支決算報告は12月理事会までに届けられる予定であるが、協賛企業の協力などにより赤字にはならない見込みであることが報告された。

(3) 第125回総会・全国学術集会収支・開催報告

特になし。

5. 理事長報告

(1) その他

特になし。

III. 審議事項

1. 新入会員の承認について

資料に基づき、以下の入会者が承認された。

正会員 6名、学生 1名

2. 教授就任による代議員について

資料に基づき、以下の2名の代議員申請が承認された。

細矢 明宏 氏(北海道医療大学歯学部)

藺村 貴弘 氏(朝日大学歯学部)

3. 休会申請について
資料に基づき、1名の休会申請が承認された。
4. 次期代議員・役員選出選挙について
資料に基づき、次期代議員・役員選出選書をオンライン投票にて行うことが承認された。オンライン投票では、二回以上の投票があった場合は最終投票を有効とすること、投票日程、被選挙人名簿が確認された。
5. 会員名簿作成について
資料に基づき、日本解剖学会会員名簿2022（仮称）の委員構成（西真弓委員長、他3名）、発行スケジュールが承認された。また、見積もりを元に、名簿発行年の会費を1,000円値上げして全ての会員に配布すること、名簿の販売に関しては今後検討することとなった。
6. 死体解剖資格取得申請に関する問題提起について
資料に基づき、常務理事会で作成した解剖学会としての指針案について、今後どのようなステップを経て決定するのかについて審議された。厚生労働省医政局の意見を聴いた後に、学会員より広く意見を求めるステップを経て、理事会の承認を得て指針案を決定することが承認された。
7. 技術職員に関するアンケート対応について
資料に基づき、学会ホームページと解剖学雑誌へアンケートへの報告書掲載が完了したことが報告された。今後、技術員の処遇改善や人員枠の確保に向けての要望書内容や提出先について検討することとした。
8. 基本財産運用方針の確認
資料に基づき、これまで通り1年満期の定期預金で運用を行う旨が了承された。
9. COVID-19に対する各大学の対応と解剖学教育への影響に関する再調査について
資料に基づき、緊急調査結果は、解剖学会会員へフィードバックすることが承認された。また、感染症の専門家の意見も受けながら、安全な解剖実習の実施に向けての提言を行うことを検討することとした。
10. その他
次回の常務理事会、理事会が12月12日（土）に予定されている。